

## 第4回双葉町放射線量等検証委員会 議事要旨

日 時：令和元年8月29日（水） 13：40～14：45

場 所：双葉ふれあい広場 1階会議室

### 1 現地視察（略）

### 2 開会（略）

### 3 議事

- (1) 双葉町における除染前後の線量等について
- (2) 特定復興再生拠点における空間線量率調査結果について
- (3) 双葉町独自の放射線量等測定結果について

- 資料3に基づき、環境省から説明。
- 資料4及び資料5に基づき、事務局から説明。

（主な意見）

- 解除目標エリアのアクセス道で、 $3.8\mu\text{Sv/h}$ を超える箇所については、周囲も除染しなければならないように思えるが、そのような計画はあるか。  
→今年度の下半期から、除染の開始予定である。
- 解除目標エリアのアクセス道の周辺を除染するということだが、どの範囲まで行うのか。  
→道路周辺については優先的に除染し、来年の3月までに除染を終える予定である。また、引き続き、特定復興再生拠点の全域で、周辺の農地や民家を含め全面的に除染していく。  
→できれば年内に除染を終わらせるように努力すべきである。
- 現在、道路にはかなり草が生えているため歩きにくく、またさびしさを感じてしまう。草刈り等の環境整備が必要をすべきである。
- 被ばく線量の推計について、自然放射線と合わせた線量を示していることを明確にわかるように表記してもらいたい。
- 現在線量が高い地域を集中的に下げることを実施すれば、解除にあたり支障はない。
- 震災後帰還するにあたり、町民にとっては帰還したいと思える環境が大事である。解体も倒れかけた家屋を優先的に解体できるように町が積極的に動くべき。  
→環境省と協力しながら、家屋の所有者に了承を得るなど、倒壊している家屋の解体を優先的に進めるようにしていく。
- 多数のトラックが立入り規制緩和後の街中を飛ばして走るようなことは避けるべき。帰還意欲も下がるし、危険である。
- 町民に個人線量計をつけていただく取り組みも必要である。

- 浪江町に外国人が流入し、むやみに You Tube に発信するといったことが増えてきている。そうした面での対策も必要。
- 線路も避難指示解除の対象に入るのか。  
→JR 常磐線も解除範囲である。
- 除染していない地域の速やかな除染、町民が帰還したいと思えるような環境づくりを進めるようにしてもらいたい。

#### 4 その他

(主な意見)

- 次回の委員会の前に事務局で案を作成し、それをメールで各委員に送付し事前に意見を集めることで、次回の委員会は確認の場としたい。確認が取れたのであれば、町長にそのまま最終報告を提出するという流れとしたい。

#### 5 閉会 (略)